

暮らしの本

Gakken Interior Mook

古布を暮らしに生かす実例集

古布に魅せられた暮らし

曙色の章

みどころ
スポットつき

三大つるし飾りで
雛祭りを遊ぶ

藍染・縮緬・刺し子……etc.

手仕事作品で
しつらえる

堀内春美さんに学ぶ

古布の着こなし

作り手の想いが伝わる

愛らしい
縮緬細工の物語

動く細工物・角袋のベスト・半纏のバッグ
作家さんに教わる古布作品の作り方

カタログ

センスアップするインテリア雑貨や創作
素敵に装うファッションアイテムが満載

巻頭とし込み付録

古布好きに贈る絵はがき&カ-

暮らしの本

古布を暮らしに生かす実例集

古布に魅せられた暮らし

曙色の章



古布を取り入れ、素敵に暮らす方々を取材し続けてきた

『古布に魅せられた暮らし』。

受け継がれる布を愛し、

手作りを愛する方に支持され、15号を迎えました。

より一層、みなさまの作品づくりに寄り添った、

役に立つ本作りを目指していきます。

夜明けの美しい空の色「曙色」を纏^{まと}った、

新たなシーズンの幕あけです。



*Kofu Ni Miserareta Kurashi
Akebono iro no shou*

古布を暮らしに生かす実例集

古布に魅せられた暮らし 曙色の章

2013年3月8日 初版発行

発行人 河上 清

編集人 澤田優子

発行所 株式会社学研パブリッシング
〒141-8412 東京都品川区西五反田 2-11-8

発売元 株式会社学研マーケティング
〒141-8415 東京都品川区西五反田 2-11-8

印刷所 共同印刷株式会社

この本に関する各種お問い合わせ先

【お電話の場合】

●編集内容については Tel. 03-6431-1516 (編集部直通)

●在庫、不良品 (乱丁、落丁) については、Tel. 03-6431-1205 (販売部直通)

【文書の場合】

〒141-8418 東京都品川区西五反田 2-11-8

学研お客様センター「古布に魅せられた暮らし 曙色の章」係

●このほかの学研商品に関するお問い合わせは下記まで。

Tel. 03-6431-1002 (学研お客様センター)

© Gakken Publishing 2013 Printed in Japan

本書の無断転載、複製、複写 (コピー)、翻訳を禁じます。

本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家族内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。

学研の書籍・雑誌についての新刊情報・詳細情報は下記をご覧ください。

学研出版サイト <http://hon.gakken.jp/>



第一章

暮らしを豊かにする古布

作り手の思いが伝わる

愛らしい縮緬細工の物語…………… 8

藍染・縮緬・刺し子・襦袢……etc.

手仕事作品でしつらえる…………… 30

第二章

古布が教えてくれる幸せ

生徒さんと、お母さんと、創作仲間と……

あふれる想いと絆が感じられる作品づくり…………… 54

古布を纏った麗しき作品たち…………… 66

堀内春美さんに学ぶ古布の着こなし…………… 80

三大つるし飾りで雛祭りを遊ぶ…………… 89

「鎌倉かぐら」の古布でもてなす雛祭り…………… 98

第三章

古布と出会い、作る

全国古布ショップ&ギャラリー案内…………… 106

バックナンバーのお知らせ…………… 111

古布のふれあい広場…………… 112

布のイベントスケジュール…………… 114

作家さんに教わる古布作品の作り方…………… 116

取材協力店リスト…………… 124

カタログ

部屋を彩る手作りアイテム…………… 50

手仕事作品で素敵に装う…………… 84

個性豊かなつるし飾りカタログ…………… 102



※本誌では手作りやディスプレイに役立つ情報がよりわかりやすくなるように、本文中の参考になる部分を太字で表記しています。
※取材先の方の教室や関連イベントなど、可能な限りP.124の「その他の問い合わせ先」に掲載しています。

暮らしの本

Gakken Interior Mook

古布を暮らしに生かす実例集

古布に魅せられた暮らし

曙色の章

みどころ
スポットつき

三大つるし飾りで
雛祭りを遊ぶ

藍染・縮緬・刺し子……etc.

手仕事作品で
しつらえる

堀内春美さんに学ぶ
古布の着こなし

作り手の想いが伝わる

愛らしい
縮緬細工の物語

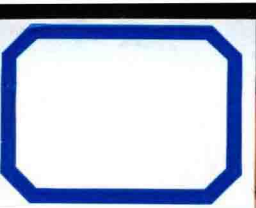
動く細工物・角袋のベスト・半纏のバッグ
作家さんに教わる古布作品の作り方

カタログ

センスアップするインテリア雑貨や創作
素敵に装うファッションアイテムが満載

巻頭とじ込み付録

古布好きに贈る絵はがき&カ



時代裂と創作人形に出会えるお店

ギャラリーとんぼ



上原装子・作



ギャラリーとんぼ

(古美術とんぼ隣接／着物・古美術品 高価買取)

2-0974
県北九州市小倉南区徳力 6-10-3
モノレール 徳力嵐山口 下車 徒歩 1 分
3-961-2689 info@gallery-tonbo.com
時間／ 11:00 ～ 18:00 (日曜定休・催事中は営業)



ISBN978-4-05-606926-6

C9477 ¥2100E

雑誌69814-94

Ⓜ ロングセラー

GAKKEN 1860692600

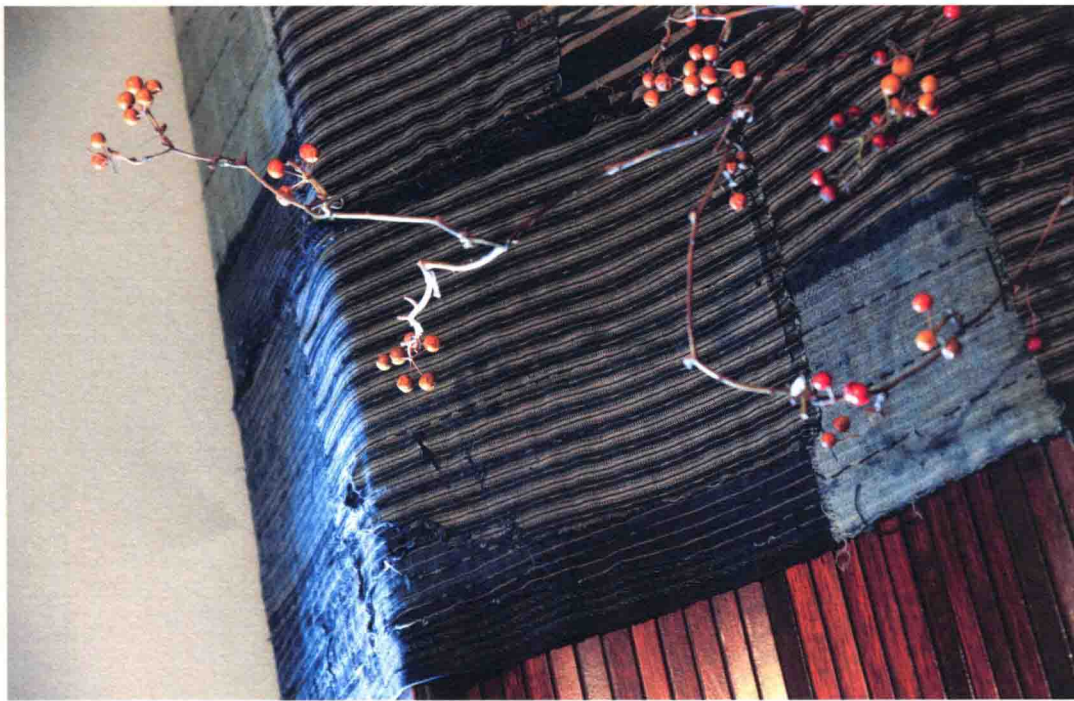
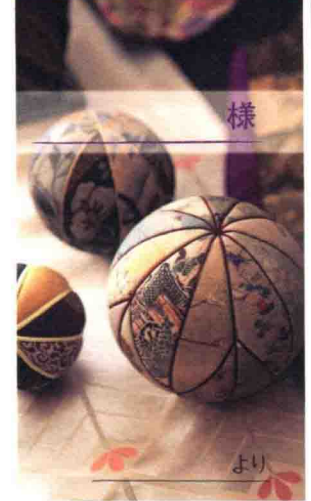
定価2,205円 本体2,100円



9784056069266

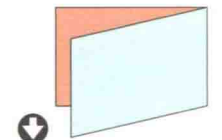


1929477021006



↑ 切り離してミニカードとして
使用して下さい

2つ折りにして
メッセージカードにして下さい



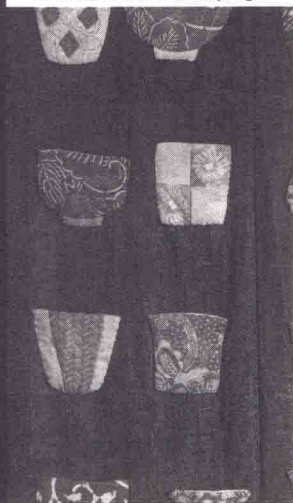
Message
for you

See you
kofunē miserareta kurashi

巻頭とし込み付録・絵はがき&カード ミシン目で切つて、絵はがきやメッセージカードとしてお使いください。

古布:魅せ分け:幕引 ©Setuko Koike

古布:魅せ分け:幕引 ©Sumiyo Ogaki



郵便はがき



切手



切手

郵便はがき



様

名前

より

古布:魅せ分け:幕引

制作/水野京子

古布:魅せ分け:幕引

暮らしの本

古布を暮らしに生かす実例集

古布に魅せられた暮らし

曙色の章



古布を取り入れ、素敵に暮らす方々を取材し続けてきた

『古布に魅せられた暮らし』。

受け継がれる布を愛し、

手作りを愛する方に支持され、15号を迎えました。

より一層、みなさまの作品づくりに寄り添った、

役に立つ本作りを目指していきます。

夜明けの美しい空の色「曙色」を纏^{まと}った、

新たなシーズンの幕あけです。



第一章

暮らしを豊かにする古布

作り手の思いが伝わる

愛らしい縮緬細工の物語…………… 8

藍染・縮緬・刺し子・襦袢……etc.

手仕事作品でしつらえる…………… 30

第二章

古布が教えてくれる幸せ

生徒さんと、お母さんと、創作仲間と……

あふれる想いと絆が感じられる作品づくり…………… 54

古布を纏った麗しき作品たち…………… 66

堀内春美さんに学ぶ古布の着こなし…………… 80

三大つるし飾りで雛祭りを遊ぶ…………… 89

「鎌倉かぐら」の古布でもてなす雛祭り…………… 98

第三章

古布と出会い、作る

全国古布ショップ&ギャラリー案内…………… 106

バックナンバーのお知らせ…………… 111

古布のふれあい広場…………… 112

布のイベントスケジュール…………… 114

作家さんに教わる古布作品の作り方…………… 116

取材協力店リスト…………… 124

カタログ

部屋を彩る手作りアイテム…………… 50

手仕事作品で素敵に装う…………… 84

個性豊かなつるし飾りカタログ…………… 102



※本誌では手作りやディスプレイに役立つ情報がよりわかりやすくなるように、本文中の参考になる部分を太字で表記しています。
※取材先の方の教室や関連イベントなど、可能な限りP.124の「その他の問い合わせ先」に掲載しています。

第一章

暮らしを豊かにする古布



作り手の
思いが伝わる

愛らしい 縮緬細工の物語

古の時を経た日本の美しい布を愛し、
慈しみながら作品づくりを続ける5人の方を訪ねました。
縮緬を中心とした古布の細工物の世界へご招待します。

蝶と孔雀の羽根が描かれた
縮緬は、織り糸の細さと深
みのある紫色にひかれ、端
切れで手に入れて仕立て
た。奥は夕焼けのような濃
淡が美しい大正の錦紗縮緬



凛々しい表情の龍が印象的な縮緬は、端切れで入手したもの。青海波が斜めの線を描くようにレイアウトし、シャープな印象に仕上げた



左／金鶏きんけいが描かれた大正の縮緬。本来は袖のこの位置に紋が来ることはないが、あえてここに配置して松と鳥と紋で三角形を作り、見映えのするバランスを追求した 右／古い五月人形の台座にディスプレイ。衣桁は振り袖のサイズに合わせて作ってもらったもの



もとは留袖だった錦紗縮緬。身頃の上前と下前で異なる模様が描かれていた珍しい布地を、2点のミニ振り袖に仕立てて再現した

日本伝統の美しい着物の柄を 精巧なミニ振り袖で再生

愛知県 加藤キミ子さん

ご主人のおばあさまが遺した古い縮緬の着物を何とか身近な形で残す方法はないかと、和裁の専門書などを頼りにして、8年ほど前に独自のミニ振り袖の作り方を編み出した加藤さん。「作品は本来の着物の4分の1サイズで作ります。この大きさだと、もとの着物の柄をほぼ完璧に再現することができるとです」。背中と両袖の部分で柄のつなぎ目をぴたりと合わせ、布地本来の印象を損なうことなく1枚の小さな振り袖に仕立て上げます。一方、端切れなどで柄合わせができない場合は、描かれた模様を引き立たせるオリジナルのレイアウトを考案。どちらも本物の着物と見紛うような美しさと迫力です。

「縮緬は古いものほど織り糸が細く布が滑らか。柄も美しいものが多く魅力的です。もとの風合いを変えないよう、絶対に洗濯はしません」と語る加藤さん。手に入れたときはぼろぼろの状態でも、補修して作品に仕上げると、不思議と汚れが気にならないうほど美しく生まれ変わるそう。「時代を経た布が持つ力ですね」と、古布への情熱は高まるばかりです。

くす玉が描かれた黄色い着物を、腰上げた状態で帯と一緒に盆にのせて飾って。奥は帯地で作った作品。伊勢海老が迫力満点



右／美しく舞う鶴と松竹梅が描かれていた明治時代の留袖をリメイク。「松が入ると重たくなってしまうので」と松の部分は使用せず、軽やかな印象に仕上げた
左／足田柄のなかに、あざやかな翼の鶴が羽ばたく。「仕立てる時は、動きのある構成になるようにいつも心がけています」



縮緬や帯地のあざやかな色彩を
小さな着物にとじ込めて

こんな作品も
手掛けています

長さが足りず着物には使えなかった染見本の反物を、手縫いで喪服の生地とつなぎ合わせて、45cm角のクッションにリメイク。色合いや柄が似ている部分を選んで4点作り、自宅の教室で使う作業テーブルの椅子に置いて愛用しています。



制作した作品は生活に取り入れて楽しんでいる加藤さん。玄関ホールに作品を飾り、階段の上からも打掛を垂らして華やかに。毎年5月には自宅を会場に作品展を開催している



左／帯地を利用した作品でも、元の柄を狂いなく再現。豪華な刺しゅうで、御簾から顔をのぞかせる姫が扇の中に描かれている
右／こちらも帯地を使った作品。右の額には、両袖を裁断する際に端切れになった般若の顔の部分をおさめて飾ってある



上／藤と竹が大胆に構成されたモダンな縮緬は、下着の裾よけに使われていたもの。布の幅がぎりぎりだったため、念入りに設計図を書いて裁断。咲き乱れる藤を下から眺めているような、臨場感ある作品に仕上がった
下／ミニ振り袖を塗りの御膳に飾って。右は紅白の梅とうぐいすが描かれた縮緬

人形に着せる着物の場合は、背中ではなく前身頃と袖に良い模様が来るよう、柄の取り方を変えている。帯や襦袢など、合わせるものも、着物と同時代の古布を使って制作した



振り袖から襦袢、帯揚げまで詠えた 愛らしい市松人形たち



のびる松を、ダイナミックに背中に配した作品。「冴え渡るような、きりっとした色合いが何とも魅力的な縮緬です」と加藤さん



右は材料となる着物をほどこした反物、左は制作中の作品。反物の繰り返ししの柄を利用し、同じ柄を小さな振り袖の中に描き出す



市松人形はすべて「人形工房映水」(愛知県・岡崎市)のもの。小ぶりな頭と愛らしい表情に魅かれ、「作品を着せるのはこの人形」と決めている



力強く羽ばたく鷹を袖と背中に配置して、躍動感たっぷりに表現。背景のパネルは、松と鶴が描かれた古い縮緬の布を張って作ったもの

愛知県の自宅や東京、浜松でミニ振り袖の教室を開いている加藤さん。生徒さんとの会話から着物についての新しい知識を得ることも多いそう

